

# 18 意見文を推敲する

組	
番号	
氏名	

1 中学校の国語の授業で、「情報化社会を生きる私たちに必要なこと」というテーマの意見文を書いています。目標は、「構成を工夫して、自分の意見を明確に述べること」です。今日の授業では、ほぼ完成した意見文をグループ内で読んで話し合い、それを参考にして自分の意見文を推敲することになりました。次の文章は、同じグループの小森さんと村上さんが書いた意見文です。これらを読んで、問いに答えなさい。

【小森さんの意見文】

- ① 現代は、メールが普及し、便利になっている。昔に比べると、気軽に素早くメッセージをやりとりできる時代になった。しかし、私たちは、こうした伝達手段によって、お互いに深く理解し合っていると考えるだろうか。逆に不十分なメッセージによって、誤解が生まれるようなことさえあるのではないだろうか。
- ② 先日、友達からこんな話を聞いた。ちょっとしたことでもけんかをしてしまった仲の良い友達から「もう終わりにしようよ。」と書かれたメールが届いたのだそうだ。けんかをするのはもう終わりにして、また仲良くしようという意味なのか、もう友達づきあいは終わりにしようという意味なのか、悩んだと言っていた。
- ③ 手軽なメールは、確かに便利である。しかし、そのためにお互いに直接会って話し合うようなコミュニケーションが軽視されるのでは意味がないと思う。

【村上さんの意見文】

情報があふれている社会で私たちに必要なものは、必要な情報を選択する力と、情報の正しさを判断する力だと思う。この二つの力がなければ、私たちは、情報に流されてしまうのではないだろうか。私には、一年生の時に失敗してしまった経験がある。夏休みの自由研究で「絶滅のおそれがある野生生物」というテーマのレポートを作成し、提出した。ところが、参考にしたインターネットのホームページの内容が正しいかどうか疑問だという指摘を先生からいただいたのだ。私は、改めてホームページを確かめてみた。すると、五年前から一度も更新されていないものや地球上の一部の地域のことしか取り上げていないものがあった。情報を何も考えずに受け入れてしまうことは、とても危険である。情報をうのみにせず、本当に必要なものを選び、正しく判断できる力こそ私たちに求められているものなのだ。

(1) 小森さんは「村上さんの意見文」を読んで、自分の意見文の書き出しに次の一文を書き加えることにしました。

情報化社会と呼ばれる現代だからこそ、お互いに顔を合わせたのコミュニケーションを大切にする気持ちが必要だ。

このことから、小森さんが村上さんの意見文をどのように評価したことが分かりますか。次の1から4のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

■ 正答は、「4」

【村上さんの意見】の書き出しでは、結論に当たる「情報があふれている社会では私たちに必要なもの」について明確に述べている。小森さんが「自分の意見文の書き出し」に書き加えようとしている一文も結論に当たるものになっている。このことから、選択肢「4」を正答とする。

(2) 村上さんは「小森さんの意見文」を読んで、内容ごとに段落を分けている点が良いと思いました。そこで、小森さんの書き方を参考に段落を分けることにします。次の文章は、そのことを説明したものです。あとの1から4のうち、アからカの組み合わせとして最も適切なものを一つ選び、文章を完成させなさい。

○ 【小森さんの意見文】の三つの段落は、

ア 「問題提起」、「まとめ」、「具体例」

イ 「問題提起」、「具体例」、「まとめ」

の順に分けられている。

○ これにならうと、「村上さんの意見文」は、

ウ 「私には、一年生の時に」

エ 「私は、改めて」

の前と

オ 「情報を何も考えずに」

カ 「情報をうのみにせず」

の前で改行して、三つの段落に分けると良い。

■ 正答は、「3」

【小森さんの意見文】は①段落ではメールという伝達手段によってお互いを深く理解し合っているかという問題を提起し、②段落では具体例として友達から聞いた話を紹介し、③段落では問題を再度挙げて、意見をまとめている。これにならうと、【村上さんの意見文】では、第二段落は、一年生の時の体験を述べた「私には、一年生の時に」の前、第三段落は、体験を根拠に意見をまとめた「情報を何も考えずに」の前で改行すると良い。このことから、選択肢3を正答とする。